

### 「くるカメ出張講座」受講者募集

ごみ減量への理解を深め関心を高めるため、「くるカメ出張講座」の受講者を募集します。「くるくるカメくん」をはじめとしたオリジナルキャラクターが登場するごみ減量啓発冊子やアニメーションDVD（子ども向け・一般向けの2種類）、ごみ減量かるたなどを用いて、小金井市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説します。受講日時や講義内容などについてのご相談をお受けしますので、ぜひ、ご利用ください。



対象	市内在住・在勤・在学の方
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小金井市のごみの現状について</li> <li>ごみ減量かるた</li> <li>ごみの分別啓発冊子</li> <li>ごみの分別啓発ちらし</li> </ul>
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>アニメーションDVD 2種類</li> <li>①子ども向けごみ減量啓発アニメーション「くるカメ大作戦」</li> <li>②ごみの分別方法の解説アニメーション「ようこそ！小金井市へごみの出し方」</li> <li>ごみ減量かるた</li> </ul>

申込 電話または直接、ごみ対策課清掃係（市役所第二庁舎4階 ☎042-387-9835）へ。

### リユース くつ・かばん類などの拠点回収にご協力をお願いします

ご家庭で不要になったくつ・かばん類などの拠点回収を実施しています。回収したものは国内外でリユース（再使用）されています。分別し、資源として拠点回収をお持ちいただければ燃やすごみ、燃やさないごみの減量にもなります。ぜひ、ご利用ください。

とき 毎月第2火曜日午後2時～3時30分  
※ 雨にぬれるとリユースできなくなるため、雨天の場合はできる限り次の日にお持ちください。

ところ リサイクル事業所前（中町3-19-16）  
対象 市内在住の方（業者の方を除く）  
回収物 下表のとおり  
持参方法 くつなどは箱から取り出し、透明または半透明の袋に入れてください。  
問合せ ごみ対策課清掃係 ☎042-387-9835

○回収できるもの	×回収できないもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>▷外履き用のくつ類（左右ペアのもの）例）スニーカー、サンダル、革靴など</li> <li>▷かばん類 例）リュックサック、ショルダーバッグ、ハンドバッグなど</li> <li>▷ベルト（サスペンダーなども可）</li> <li>▷ぬいぐるみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷特殊なくつ類 例）長靴、ブーツ、スリッパ、スパイク</li> <li>▷車輪の付いたかばん類 例）スーツケース、キャリーバッグ</li> <li>▷ランドセル</li> </ul>

### リユース 手軽にごみ減量！生ごみの水切り

燃やすごみの多くを占めているのが生ごみです。その生ごみには、大量の水分が含まれています。生ごみを出す前に水分を減らす工夫をしましょう。



水切りすると...

#### 水切りのメリット

- ▷ 燃やすごみを減量することができる
- ▷ 腐敗を遅らせ、嫌なにおいの発生を抑える
- ▷ ごみが軽くなってごみ出しも楽になる
- ▷ ごみ排出場所の汚水による汚れを防止する
- ▷ ごみ収集車からの汚水漏れを抑える
- ▷ 電動生ごみ処理機の乾燥時間を短縮し、電気代の節約になる
- ▷ CO<sub>2</sub>発生を抑える（ごみ量の減少により収集車の燃費が良くなる）

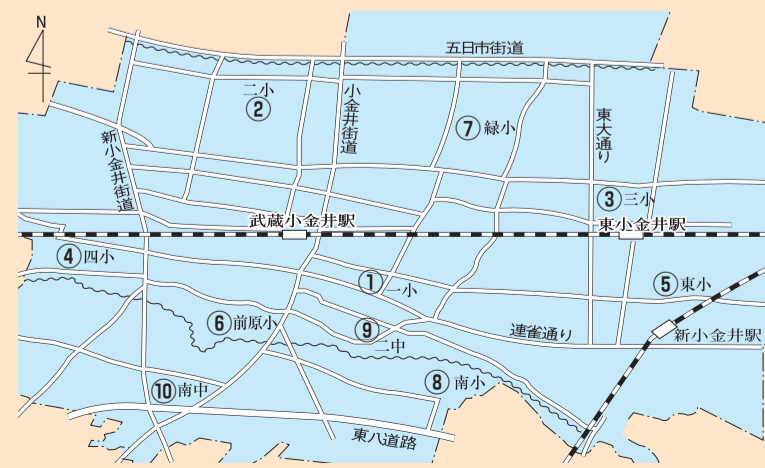
水切りは、子育てや仕事などで忙しい方でも手軽にごみを減量できる方法です。また、雨の日のごみ出しの際、ごみをふたで覆うなどぬれないように工夫をすることも大切です。引き続き、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

#### 【生ごみの持参について】

生ごみは、水切りをしてから持参するようご協力をお願いします。水切りをすることで、電動生ごみ処理機の運転時間が短くなり、節電にもつながります。

#### 【市民ボランティア募集】

市では、本事業にご協力いただけるボランティアの方を随時募集しています。1日だけの参加も可能です。詳しくはお問い合わせください。  
問合せ ごみ対策課清掃係 ☎042-387-9835



# 平成26年度 ごみ・資源物処理量

## 焼却処理量について

平成26年度に焼却処理された燃やすごみは12,577t（前年度は12,557t）で、20t（約0.2%）の増加となりました。内訳は、家庭系ごみが12,291t（前年度は12,195t）、96t（約0.8%）の増加、事業系ごみが286t（前年度は362t）、76t（約21.0%）の減少となりました。家庭系ごみを市民1人1日当たりに換算すると、287g（前年度は285g）、2g（約0.7%）の増加となりました。

本市は、燃やすごみの処理を多摩地域の各団体にお願いしており、施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様へのご負担を軽減するため、さらに燃やすごみの減量に努めていくことが必要です。市民の皆さんと事業者の方々が、ごみを出さないライフスタイルの実現に向け、生ごみの水切りなど、ごみ減量の基本となる発生抑制に積極的に取り組み、さらに、古紙・布や剪定枝などの資源物や不燃系ごみの分別排出を徹底していただくようご理解・ご協力をお願いします。

をお願いします。

## 埋立処分量について

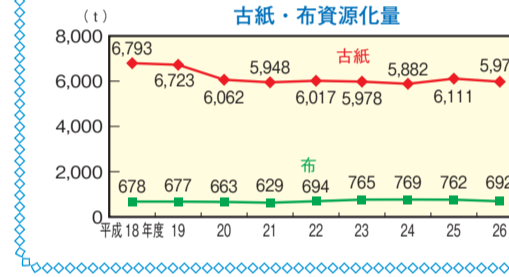
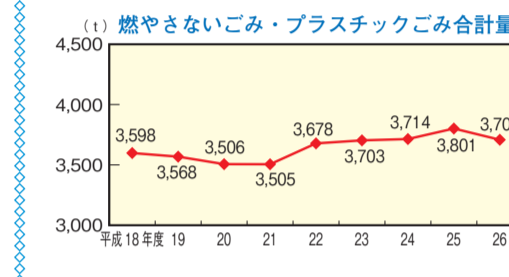
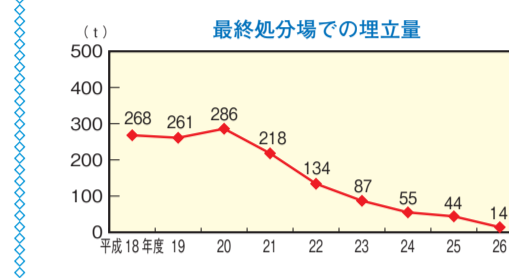
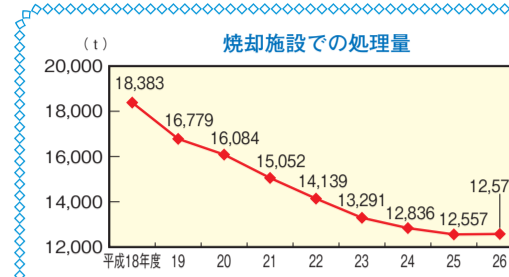
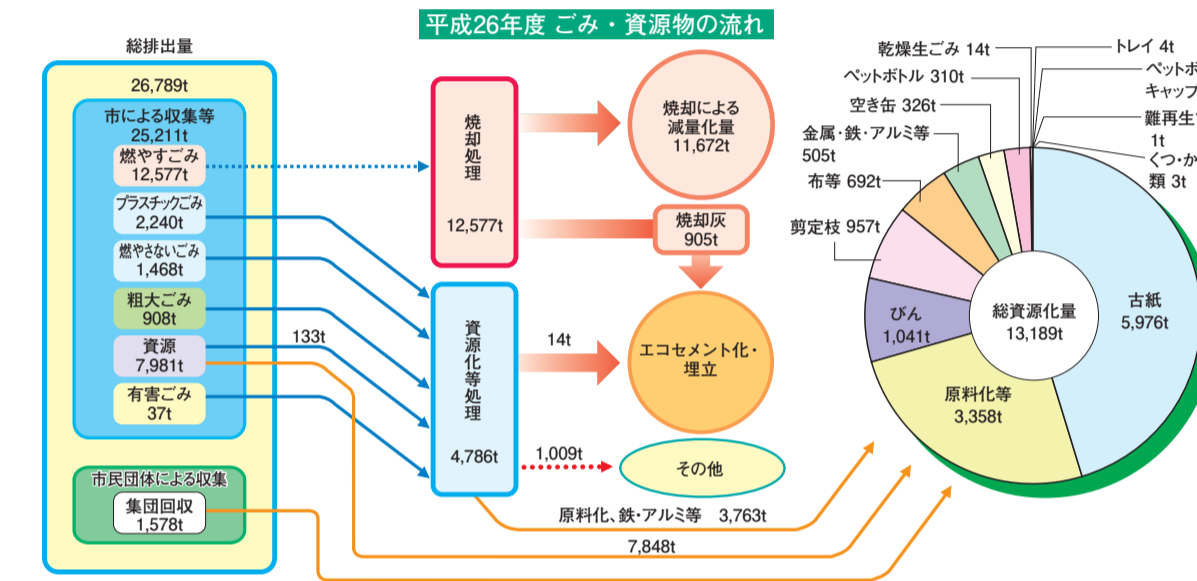
平成26年度の埋立処分量は14t（前年度44t）となり、埋立処分量が減少しました。また、燃やさないごみ・プラスチックごみの収集量は、合計3,708t（前年度は3,801t）でした。

## 資源化について

平成26年度に収集されたごみ・資源物の総資源化率は、49.2%（前年度は49.8%）でした。

また、平成26年度に資源化された古紙・布は、6,668t（前年度は6,873t）でした。

また、その他に、従来埋め立てられていた焼却灰をエコセメントとして再利用する事業が平成18年度から始まっています。平成26年度の本市の燃やすごみの処理で発生した焼却灰905tがエコセメントとなりました。



### リユース リサイクル

## 平成28年度 ごみ・リサイクル カレンダー 表紙絵を募集



昨年度の最優秀賞作品（桜井裕雨さん）

各家庭に配布するごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵を描いてみませんか。

ごみ収集車・処理施設・地球環境など、ごみやリサイクルに関することなら何でも結構です。

応募資格 市内在住の小学校4～6年生  
作品 ▷未発表の作品に限ります。▷B4判の画用紙に横長に描いてください。▷クレヨン・絵の具など材料は

問いません。

入賞 入賞作品は平成28年度ごみ・リサイクルカレンダーに掲載します。（応募者全員に参加賞）

発表 入賞者本人に連絡するとともに、市報に掲載します。

応募方法 9月1日～14日に、作品（1人1作品）の裏に住所・氏名（ふりがな）・電話番号・学校名・学年組を明記し、直接、ごみ対策課（市役所第二庁舎4階）または各市立小学校へ。

### リユース リサイクル

## 夏休み生ごみ投入リサイクル事業に参加しませんか

夏休みの期間中、皆さんの家庭から出た生ごみを小・中学校に設置された電動生ごみ処理機に投入することができます。ここで投入された生ごみは、野菜や果樹を作るための食品リサイクル堆肥としてリサイクルされています。また、本事業とあわせて食用廃油や、くつ・かばん類の回収を実施する学校もあります。

各学校の近くにお住まいの方、ごみの減量や生ごみの資源循環に興味のある方など、多くの方のご参加・ご利用をお待ちしています。  
※ 学校により実施期間などが異なりますので、詳しくは下表をご覧ください。

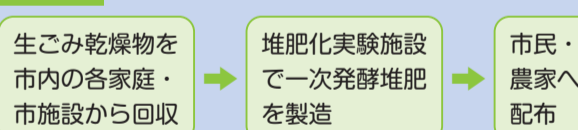
実施校	実施期間	実施曜日	投入時間	食用廃油	くつ・かばん類
①第一小学校			9:00～10:00	随時実施	8/19(水)
②第二小学校	7/18(土)～8/29(土)	水・土	10:00～11:00	随時実施	8/26(水)
③第三小学校		土		—	—
④第四小学校	7/21(火)～8/21(金)	月～金		—	—
⑤東小学校	7/21(火)～8/27(木) ※雨天中止	火・木・土		—	7/30(木)
⑥前原小学校	7/22(水)～8/29(土)		9:00～10:00	随時実施	8/26(水)
⑦緑小学校				随時実施	—
⑧南小学校	7/18(土)～8/29(土)	水・土		随時実施	8/12(水)
⑨第二中学校				—	—
⑩南中学校	7/21(火)～8/7(金) ※雨天中止	月～金		—	—

### リサイクル

## 食品リサイクル堆肥が変わりました

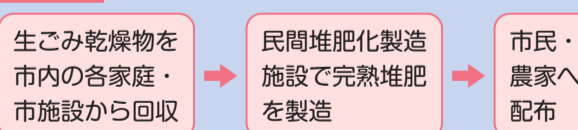
市では、ごみの減量と循環型社会の形成に向け、市立小・中学校や市立保育園・家庭で使用している生ごみ減量化処理機器（乾燥型）から生成された生ごみ乾燥物を回収し、中町にある堆肥化実験施設で食品リサイクル堆肥を製造していました。平成27年3月末日をもって堆肥化実験施設を閉鎖したことに伴い、生ごみ乾燥物の堆肥化事業の仕組みを変更し、製造する堆肥も新しくなりました。

#### 今まで



今までの堆肥は、生ごみ乾燥物や発酵資材が原料で、ペレット状のものだったよ。

#### 現在



新しい堆肥は、生ごみ乾燥物や稲わら、パーク、豚の糞や下水汚泥が原料で、粉状のものになったよ。

## 一般廃棄物処理基本計画を策定しました

市では、一般廃棄物の安定的な処理などに関する施策を総合的・計画的に推進するため、平成27年3月に一般廃棄物処理基本計画を策定しました。計画期間は平成27年度～36年度の10年間です。

この計画は、情報公開コーナー（市役所第二庁舎6階）で公開し、市ホームページからダウンロードできるほか、図書館でも閲覧できます。市のごみ減量などについてご理解を深めていただくためにも、ぜひ、ご活用ください。

## ごみ減量大作戦!!

### 市長からのお話

7月1日、東京自治会館（府中市）で浅川清流環境組合の平成27年第1回組合議会定例会が開催され、組合が設立されるとともに上程された全ての議案を全会一致で可決および同意し、日野市、国分寺市、そして本市の3市による可燃ごみの共同処理が正式にスタートしました。

思い起こせば、市政の大きな課題であった可燃ごみの処理問題は、約30年間にわたり多摩地域の皆さんや市民の皆さんに多大なご心配をかけてきましたが、この組合が設立されたことにより平成31年度中の新可燃ごみ処理施設の稼働をめざして大きく前進することになりました。

同時に、新可燃ごみ処理施設の設置場所となる日野市をはじめ、国分寺市、そして、これまでも小金井市のごみ処理を支えてくださった多くの多摩地域の各団体並びに関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。

引き続き本市は、与えられた役割や責任を誠実に果たしていかなければなりません。市民の皆さんにも、本市のごみ処理が日野市石田地区で行われることを常に念頭に置き、ごみの減量・資源化の推進に取り組むよう改めてお願いいたします。

#### 1か月の燃やすごみ地区別 1人1日当たりの排出量

地区	5月		
	目標量	増減量	増減率
市内全域	287.6	281.8	5.8
武蔵小金井	289.8	281.8	8.0
東小金井	39.8	34.4	5.4

※ 平成27年5月の燃やすごみ（家庭系）について、1日1人当たりの排出量は、287.6gとなり、目標（281.8g）を5.8g上回ってしまいました。これから、夏を迎え、夏野菜やフルーツなど水分を多く含む食材が食卓に並びます。また、食中毒の気になる季節でもあり、食材をよく洗うなど、生ごみの水分が特に多くなりがちです。野菜・果物の皮や食べ残しを、そのままごみとして袋に入れる前に、「水切り袋に入れて絞る」、「天日にさらす」などの工夫で、水分量をぐんと減り、腐敗を遅らせることができます。